

めざす社会のすがた「性別にかかわらず、だれもが個人として尊重され、個性を発揮できる社会」

課題 1 男女共同参画社会の形成のための理解の促進

目標達成効果率

目標達成効果率＝現状値(当該年度)－基準値(平成19年度)/
目標値(平成25年度)－基準値(平成19年度)

0.8以上 : 目標達成に向けて十分な成果が認められる
0.6～0.8未満: 目標達成に向かう成果が認められるが十分でない面がある
0.3～0.6未満: 目標達成に向かう成果があまり認められない
0.3未満 : 目標達成に向かう成果はほとんど認められない

指標と目標値

目標達成効果率

No.	成果指標	基準値 ※	目標値 平成25年度	現状値（目標達成効果率）					国数値（参考） (平成21年10月)
				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
a	社会全体の中で男女の地位は平等であると思う人の割合	女性：11.2% 男性：26.3%	女性：17.0% 男性：28.0% 調査ごとに増加する	—	—	—	女性13.3% (0.36) 男性27.2% (0.53)	女性：18.0% 男性：29.2%	
b	家庭生活の中で男女の地位は平等であると思う人の割合	女性：27.6% 男性：44.8%	女性：37.0% 男性：53.0% 調査ごとに増加する	—	—	—	女性33.6% (0.64) 男性50.4% (0.68)	女性：36.0% 男性：51.3%	
c	社会通念・慣習・しきたりなどにおける男女の地位は平等であると思う人の割合	女性：8.1% 男性：15.2%	数値目標の設定の促進に努める	—	—	—	女性11.7% (0.6) 男性15.7% (0.5)	女性：17.5% 男性：24.2%	
d	職場の中で男女の地位は平等であると思う人の割合	女性：17.7% 男性：20.6%	女性：20.0% 男性：32.0% 調査ごとに増加する	—	—	—	女性19.7% (0.87) 男性26.7% (0.54)	女性：20.4% 男性：29.0%	
e-1	男女共同参画に関する職員・教員研修の参加者数	—	参加者数が増加する	職員0名(0.0) (実施なし) 教員19名 (0.6)	職員65名 (0.7) 教員19名 (0.6)	職員43名 (0.5) 教員20名 (0.6)	職員51名(0.6) 教員25名(0.8)		
e-2	男女共同参画に関する職員・教員研修の研修目的の達成度 (研修終了後の簡易な参加者対象調査による)	—	研修の目的に沿った評価をした人の割合が年々増加する	職員0名(0.0) (実施なし) 教員95% (0.9)	職員85% (0.8) 教員100% (1.0)	職員84% (0.8) 教員85% (0.8)	職員68%(0.6) 教員85%(0.8)		
f	学校教育の場で男女の地位は平等であると思う人の割合	女性：63.4% 男性：71.1%	女性：65.0% 男性：73.0% 調査ごとに増加する	—	—	—	女性61.0% (0.0) 男性72.5% (0.74)	女性：66.1% 男性：70.3%	

※市の基準値は、平成19年度「四街道市男女共同参画市民意識調査」時の数値、または平成19年度末に調査した数値を採用しています。なお、数値は特記しないかぎり平成19年度のものとしています。

- ・達成状況及び現状値（目標達成効果率）の「—」となっている項目は、市民意識調査項目です。
- ・目標値を明確に定めていない指標の目標達成効果率は、本表欄外右上の評価内容を勘案し、算定しています。
- ・本表の目標達成効果率は、各年度の達成効果率となっていますが、目標値を明確に定めている指標については、必要に応じ、この率に年度補正率を乗じ、最終目標から換算した目標達成効果率をもって判定します。
年度補正率（計画初年度→5/1、2年度目→5/2、3年度目→5/3、4年度目→5/4、5年度目→5/5）

施策の方向（１）男女共同参画の市民理解の促進

基本的施策①				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
市民への男女共同参画に関する学習機会の提供				★★★	四街道市男女共同参画フォーラム実行委員会主催事業を行い、講座・研修の開催を行った。また、生涯学習まちづくり出前講座に「男女共同参画について」を登録し、市民に対する学習機会の提供を推進した。	解りやすく、魅力的な講座の開催と、効果的な周知方法の検討が必要である。
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
1	<p>「男女共同参画に関する講座・研修の開催」</p> <p>男女共同参画に関するだれもが参加しやすい講座や研修を開催します。</p> <p style="text-align: right;">関連指標 課題1「a～d、f」</p>	政策推進課	主	★★★★	四街道市男女共同参画フォーラム実行委員会主催事業の「男性の料理教室」、「女性のためのアサーティブ・コミュニケーション講座」、「『わたしの葬送日記』上映会&トーク」を行った。参加者アンケートの結果、男女共同参画に対して前向きな意見が多数であった。	参加者の確保に向け、いかに解りやすく、魅力的な講座を開催できるかが課題である。
2	<p>「男女共同参画に関する出前講座の実施」</p> <p>市民からの依頼による出前講座を実施します。</p> <p style="text-align: right;">関連指標 課題1「a～d、f」</p>	政策推進課	主	★★★	生涯学習まちづくり出前講座に「男女共同参画について」として登録済みであり、市ホームページによる周知を図ったが、出前講座の開催要請がなかったため、講座については開催しなかった。	講座の効果的な周知方法の検討が必要である。

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

基本的施策②				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
市民との男女共同参画に関する情報交流				★★★	市政だより、ホームページ、広報紙による情報発信や図書、DVDの貸出等を行い、市民との情報交流を促進した。	市民等への効果的な周知方法の検討及び的確な情報の把握と提供が求められる。
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
3	「市政だより、ホームページなどの活用」 男女共同参画に関する施策等について、市政だより、ホームページに掲載するとともに感想、意見の収集に努めます。	政策推進課	主	★★★	男女共同参画に関する施策や情報については、市政だより、市ホームページ、自治会回覧、四街道市男女共同参画フォーラム実行委員会の広報、地域新聞にも記事や情報の提供を行い、広く市民に向けた情報発信を実施した。また、これら掲載事項は政策推進課を問合せ先としており、適宜、市民からの意見を収集できる体制を整えた。	市民が意見、感想を持つことができる記事にする必要がある。
	関連指標	課題1「a～d、f」				
4	「男女共同参画に関する情報紙の発行」 市民との協働により情報紙を発行します。	政策推進課	主	★★★★	四街道市男女共同参画フォーラム実行委員会編集・発行の広報紙「和話輪」(第5号)を14,000部発行し、市役所、公民館、自治会回覧、小学校12校、中学校5校、幼稚園等に配布を行った。また、男女共同参画に関するフォーラム事業の参加者にも配布し、市民の男女共同参画に関する意識の向上を図った。	多くの市民に興味を持ってもらえるような記事の作成について検討する必要がある。
	関連指標	課題1「a～d、f」				
5	「男女共同参画に関するパンフレット等の発行」 男女共同参画に関するパンフレット等を配布します。	政策推進課	主	★★★	平成24年度男女共同参画週間ポスター、チラシ、四街道市男女共同参画フォーラム実行委員会発行広報紙「和話輪」(第5号)、DV防止、人身取引防止啓発チラシを設置または回覧し、男女共同参画に関する情報の提供に努め、市民の男女共同参画に関する意識の向上を図った。	チラシや広報誌の冊数は限られているため、市民への効果的な情報提供の方法を検討する必要がある。
	関連指標	課題1「a～d、f」				
6	「ビデオテープやDVD等のメディアの整備・活用」 男女共同参画に関するビデオテープやDVD等の整備と活用を図ります。	政策推進課	主	★★★	内閣府男女共同参画局企画のDVD「明日への道しるべ」、「配偶者からの暴力の根絶をめざして」、「ワーク・ライフ・バランスを知っていますか?」、「人と人とのよりよい関係をつくるために」を整備し、市民団体等の要望に応じて貸し出す体制を整えた。	市民等へ効果的な周知方法を検討する必要がある。
	関連指標	課題1「a～d、f」				
7	「男女共同参画関係図書の整備」 男女共同参画に関する図書を継続して整備していきます。	政策推進課 図書館	主	★★★	男女共同参画に関する図書を新規に3冊整備し、合計で図書46冊、ビデオ2本とした。また、利用者用検索機のテーマ一覧で男女共同参画に関する図書の目録を引き続き表示し、多くの利用者が情報に接する機会を設け、活用を図った。	配架スペースの中で常に整理整頓し、資料を利用しやすくする配慮が必要である。
	関連指標	課題1「a～d、f」				

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

基本的施策③				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」		
男女共同参画に関する市民の交流の促進				★★★★	四街道市男女共同参画フォーラム実行委員会主催の四街道市男女共同参画フォーラム事業を開催し、男女共同参画に関する市民の交流の機会を促進した。	市民等へ効果的な情報提供の方法を検討する必要がある		
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」		
8	「男女共同参画に関するイベント等の開催」 男女共同参画に関するイベント等を開催します。 <table border="1" data-bbox="581 691 1100 736"> <tr> <td>関連指標</td> <td>課題1「a～d、f」</td> </tr> </table>	関連指標	課題1「a～d、f」	政策推進課	主	★★★★	四街道市男女共同参画フォーラム実行委員会主催事業の「男性の料理教室」、「女性のためのアサーティブ・コミュニケーション講座」、「『わたしの葬送日記』上映会&トーク」を行った。	参加者が定員に達していない講座もあり、効果的な情報提供の方法を検討する必要がある
関連指標	課題1「a～d、f」							
9	「男女共同参画に関するイベント等開催についての配布物の提供」 イベント等のチラシやパンフレットを公共施設内や公共機関等に広く設置し、交流しやすい情報提供を行います。 <table border="1" data-bbox="581 919 1100 964"> <tr> <td>関連指標</td> <td>課題1「a～d、f」</td> </tr> </table>	関連指標	課題1「a～d、f」	政策推進課	主	★★★★	四街道市男女共同参画フォーラム実行委員会作成の男女共同参画フォーラム事業のチラシ、ポスターを市役所、公民館、福祉センター、みんなで地域づくりセンター等公共施設及び商業施設に設置した。また、各事業について、自治会回覧により、イベント等の開催について配布物を提供するなど、情報を提供した。	チラシ等の冊数は限られているため、効果的な情報提供の方法を検討する必要がある。
関連指標	課題1「a～d、f」							

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

施策の方向（２）職場における男女共同参画の理解の促進

基本的施策①				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
男女共同参画に関する市職員・教員研修の強化				★★★	市職員及び教員に対して、男女共同参画に関する情報の周知・啓発を行うとともに、研修会を実施することで、男女共同参画社会に関する理解を促進した。	多数の職員、教員が参加できる研修の開催時期、時間帯を検討するとともに理解が深まる内容を検討する必要がある。
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
10	<p>「職員研修の実施」 市職員（管理職を含む）を対象に男女共同参画に関する研修等を実施します。</p> <p>関連指標 課題1「e」</p>	人事課 政策推進課	主	★★★★	市職員（管理職含む）を対象に男女共同参画に関する研修会を実施し、51（男37、女14）名が参加した。参加者アンケート（回答数50）の結果は、34名（67%）が「理解できた。」または「ある程度理解できた。」となり、職員の男女共同参画に対する理解を促進した。	より多くの職員が参加できる時期、時間帯を検討する必要がある。
11	<p>「教員研修の実施」 市内小中学校教員を対象に男女共同参画に関する研修等を実施します。</p> <p>関連指標 課題1「e」</p>	指導課	主	★★★★	市教育委員会主催の人権研修会（男女平等に関する重要性を含めて）を実施し、各校1名以上25名（男10名、女15名）が参加した。参加者アンケート（回答数25）の結果は、20名（80%）が「人権教育について理解が深まった」となり、教員の男女共同参画に対する職場理解を促進した。	男女共同参画にかかわる内容について焦点を当てて学ぶ機会の確保が必要である。
12	<p>「男女共同参画についての職員への啓発」 市職員に対し、庁内LAN等を通じ、男女共同参画に関する情報を発信し、啓発を行います。</p> <p>関連指標 課題1「a～d、f」</p>	政策推進課	主	★★★	適宜、DV施策、男女雇用機会均等法等、男女共同参画に関する通知等を事業担当課へ情報伝達し、事業担当課を中心として男女共同参画の啓発を進めた。	
13	<p>「男女共同参画についての教員への啓発」 市内小中学校教員に対し、男女共同参画に関する情報を発信し、啓発を行います。</p> <p>関連指標 課題1「a～d、f」</p>	指導課	主	★★★	県作成の学校人権教育指導資料及び社会人権教育資料「輝きの明日」の配布等を通して、男女共同参画に基づく地域社会づくりや女性の人権など、男女共同参画に対する理解の促進を図った。	

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

基本的施策②				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
男女共同参画に関する事業所への働きかけ				★★	事業所に対し、男女共同参画に関する情報の普及・啓発を図るとともに、事業所からの研修開催等の相談に対し、講師を紹介できる体制とし、事業所への働きかけを行ったが十分ではなかった。	事業所より、相談等の利用がないことから、一層の普及・啓発等の働きかけが必要である。
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
14	「男女共同参画に関する事業所への普及・啓発」 リーフレット等を配布し、事業所への普及・啓発を図ります。 <div style="text-align: right; margin-top: 5px;"> 関連指標 課題1「a～d、f」 </div>	産業振興課	主	★★	6月に実施された男女共同参画週間中、産業振興課の情報コーナーに男女共同参画に関するチラシ等を備え付け、ポスター掲示を行うことで、来庁する事業者及び金融機関等に周知を図った。	より有効なチラシ配置場所・配布機会、ポスター掲示場所を工夫する必要がある。
15	「男女共同参画に関する事業所の研修等への支援」 事業所が男女共同参画に関する研修等を実施する際の協力・支援等を検討します。 <div style="text-align: right; margin-top: 5px;"> 関連指標 課題1「a～d、f」 </div>	産業振興課	主	★★	平成24年度は事業者からの具体的な相談はなかった。 事業者から研修等の講師について相談を受けた場合、テーマに即した講師の紹介ができるよう、千葉県男女共同参画課をはじめとした専門機関への照会等を行うこととしている。	利用がないことから、周知する必要がある。

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

施策の方向（3）男女平等教育・学習の推進

基本的施策①				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
性別にかかわらず可能性・個性を伸ばす教育・学習の推進				★★★	教育の場において、職場体験の内容を充実するとともに、教員の適材適所、能力開発の視点による職務分担決定を行い、性別にかかわらず可能性・個性を伸ばす教育・学習を推進した。	職場体験においては、児童・生徒の興味関心に応えられる内容とすることや、体験学習先のより一層の拡大が求められる。教職員においては性別と適材適所の配置をバランスよく考慮する必要がある。
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
16	「可能性・個性を伸ばす進路指導の実施」 進路指導を行う上で、男女平等の視点に配慮し、個性に応じた相談、指導を行います。	指導課	関	★★★	小学校5、6年生を対象としてキャリア教育(ゆめ・仕事ぴったり体験)を実施した。中学生においては職場体験学習を実施した。中学校では、上級学校調べを行い、性別に関わらず、自分の適性や個性に応じた進学先や職業・職種の選択ができるようにした。	小学校から中学校の義務教育9カ年の中で、発達段階に応じた系統的な指導内容を各学校の実態に応じて精選することが求められている。
17	「可能性・個性を伸ばす職場体験学習の実施」 職場体験を行う上で、男女平等の視点に配慮し、個性に応じた職場体験学習を可能にします。	指導課	関	★★★	職場体験学習を行う事業所決定の際に、児童生徒の興味関心を第一とし、性別にかかわらず、各自の興味・関心に即した職業・職種が選択できるように調整し、実施した。	限られた受け入れ先や人数制限のなかで、すべての児童生徒の希望どおりの体験学習先を与えることが難しい現状もある。
18	「教員の職務分担における固定化された性別役割分担の解消」 性別にかかわらず、適材適所、能力開発の視点により教員の職務分担を行います。	学務課	関	★★★	各学校の校長は、所属職員の過去の経験、特性等を考慮し、適材適所の視点により、性別にかかわらず、教員の職務分担を行い、調和のとれた学校運営が行われるよう努めた。	性別と個々の能力や特性、職務内容に応じた配置をバランスよく考慮する必要がある。

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

基本的施策②				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」		
男女平等の視点に立った教育・学習の推進				★★★	保育所等で、子どもの状況や発達過程を踏まえ、男女平等意識を醸成し保育を行うとともに、小中学校における道徳授業等を通じ、男女の協力や協働を促すことで、男女平等の視点に立った教育・学習を推進した。	学校、学級間での指導内容に差が生じないようにする必要があり、各学校、学級の現状を踏まえた上で推進する必要がある。		
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」		
19	「保育所等における男女平等な保育の推進」 不要に男女を区別することがないように保育を行います。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%;">関連指標</td> <td>課題1「a～d、f」</td> </tr> </table>	関連指標	課題1「a～d、f」	こども保育課	関	★★★	子どもの性差や個人差にも留意しつつ、性別などによる固定的な意識を植え付けることがないように配慮することを、各保育所(園)に対して周知し、子どもの状況や発達過程を踏まえ、男女平等意識を醸成し保育を行った。	
関連指標	課題1「a～d、f」							
20	「男女平等の視点に立った人権尊重教育の推進」 人権尊重教育の一環として、男女平等について学ぶ授業等を行います。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%;">関連指標</td> <td>課題1「a～d、f」</td> </tr> </table>	関連指標	課題1「a～d、f」	指導課	関	★★★	人権に関しては、道徳や学級活動の時間を中心に、「主として他の人のかかわりに関すること」について学ぶ中で、お互いの考えを話し合う活動を中心に、男女の協力や健全な異性観について指導した。また、学級活動の中では、望ましい人間関係の形成を学ぶためのグループでの協同的な作業や話し合いなどを通じて、男女の協力についても指導した。	各学校の道徳主任を中心に、校内研修を充実させ、学級間での指導内容に差が生じないように引き続き努める必要がある。
関連指標	課題1「a～d、f」							
21	「学校における男女混合名簿の推進」 男女平等の視点から、学校において男女別に分けない名簿を使用します。	学務課	関	★★★	男女混合名簿に限らず目的に応じた名簿を作成することで、性別によらない教育・学習を推進した。	教育課程や生徒の発達段階上の理由を考慮しつつ、適切に男女混合名簿を使用する必要がある。		
22	「だれもが参加しやすい保護者参観等の実施」 男女平等の視点から、保護者参観等について、仕事や性別にかかわらず参加しやすくなるよう、日程や内容等に配慮した取り組みを行います。	指導課	関	★★★	授業参観を主に土曜日に実施するなど、可能な限り多くの保護者が参加できるように配慮している。また、市内すべての小中学校で、希望があれば、いつでも参観を受け入れる体制を整えており、仕事や性別にかかわらず参加しやすい環境を整えた。	保護者会については、平日に開催する学校が多い。保護者会についても参加しやすい環境整備を検討する必要がある。		

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

基本的施策③				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」		
性に関する教育・学習の推進				★★★	小中学校において、成長段階に応じ、人権の重要な要素である性の理解を深めるとともに、中学生に保健事業を実施することで、必要な知識の普及や意識の醸成を図り、男女平等教育・学習を推進した。	対象者の拡大について検討するとともに、お互いを思いやる気持ちを持たせる授業や、コミュニケーション能力を養うなどの内面の変化について学ぶ授業を今まで以上に展開する必要がある。		
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」		
23	「学校等における性教育の充実」 児童生徒が対等の立場で互いの人権を尊重しあう関係を育てる学習を実施します。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>関連指標</td> <td>課題1「a～d、f」</td> </tr> </table>	関連指標	課題1「a～d、f」	指導課	関	★★★	男女が互いの身体の変化や個人差を肯定的に受けられるように配慮した指導計画の作成や授業内容作りを行った。また、小学校4年生と中学校1年生において、それぞれ4時間程度、互いの人権を尊重しあう視点を取り入れた性教育を実施することで、男女平等教育・学習を推進した。	発育に伴う体の表面的な変化だけでなく、お互いを思いやる気持ちをもたせる授業や、コミュニケーション能力を養うなどの内面の変化について学ぶ授業を、今まで以上に展開していく必要がある。また、性情報の氾濫や成長の早熟化等、正しい性知識の習得に向けた取り組みも必要に応じて、展開していく必要がある。
関連指標	課題1「a～d、f」							
24	「性に関する正しい理解の推進」 エイズ・性感染症をはじめとする性に関する情報の提供を行います。	健康増進課	関	★★★	思春期保健事業の中で、性感染症に関する正しい知識と性行動における自己決定能力の必要性の啓発を目的とし、学校と協力して中学生を対象に「性感染症に関する正しい知識と性行動における自己決定能力の必要性の理解」について講義を実施し、男女平等教育・学習を推進した。	現在は中学生が中心であり、対象の拡大が今後の課題である。		
25	「思春期保健事業の推進」 思春期の中高生を対象として、性に関する正しい知識と理解を深める啓発事業等を開催します。	健康増進課	関	★★★	中学生を対象に、性に関する正しい知識と理解を深めるため、中学生を対象に性感染症に関する正しい知識と性行動における自己決定能力の必要性の理解について講義を行った。	現在は中学生が中心であり、対象の拡大が今後の課題である。		

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

めざす社会のすがた「性別にかかわらず、誰もが個人として尊重され、個性を発揮できる社会」

課題 2 可能性・個性を発揮できる環境整備の促進

目標達成効果率

目標達成効果率＝現状値(当該年度)－基準値(平成19年度)/
目標値(平成25年度)－基準値(平成19年度)

0.8以上 : 目標達成に向けて十分な成果が認められる
0.6～0.8未満: 目標達成に向かう成果が認められるが十分でない面がある
0.3～0.6未満: 目標達成に向かう成果があまり認められない
0.3未満 : 目標達成に向かう成果はほとんど認められない

指標と目標値

目標達成効果率

No.	成果指標	基準値	目標値 平成25年度	現状値（目標達成効果率）					国数値（参考）
				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
a	市管理職に占める女性の割合／市職員に占める女性の割合	課長級以上0.2 （※1）	0.36 「1」に近づく方向で 変化する	0.23 (0.19)	0.21 (0.06)	0.12 (0.0)	0.10 (0.0)	0.16% (平成22年1月15日)	
b-1	審議会等委員に占める女性の割合	25.0%	30.0% 年々増加する	27.0% (0.4)	27.7% (0.54)	30.6% (1.12)	28.8% (0.76)	33.8% (平成22年9月30日)	
b-2	女性委員ゼロの審議会等の割合	16.0%	年々減少し、 ゼロに近づける	15.3% (0.04)	13.1% (0.18)	10.2% (0.36)	14.3% (0.11)	2.9% (平成22年9月30日)	
c	家族経営協定（※2）締結農家数	12戸	年々増加する 〔年1戸以上〕 増加する	12戸 (0.0)	12戸 (0.0)	14戸 (0.5)	14戸 (0.4)		
d	防犯環境が「よい」と回答した人の女性の割合	23.2% 平成18年市民意識調査	調査ごとに増加する	—	—	33.3%	—		
e	女性の社会的チャレンジ支援の講座の実施回数	0回	1回以上実施する	0回 (0.0)	2回 (2.0)	1回 (1.0)	1回 (1.0)		

※1 市管理職に占める女性の割合／市職員に占める女性の割合

市管理職に占める女性の割合が、市職員に占める女性の割合（平成19年度末は25%）と同じになったとき＝「1」となります。
 $\left[\begin{array}{l} \text{女性で課長職以上の職員数5人} \quad / \quad \text{課長職以上の職員数95人} = 5\% \\ \text{女性職員数160人} \quad / \quad \text{職員数631人} = 25\% \quad 5\% / 25\% = 0.2 \end{array} \right]$

※2 家族経営協定

家族経営協定とは、家族農業経営にたずさわる各世帯員が、意欲とやり甲斐を持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき、取り決めるものです。（農林水産省ホームページより抜粋）

- ・達成状況及び現状値（目標達成効果率）の「—」となっている項目は、市民意識調査項目です。
- ・市民意識調査は、平成24年度の実施を予定しています。
- ・目標値を明確に定めていない指標の目標達成効果率は、本表欄外右上の評価内容を勘案し、算定しています。
- ・本表の目標達成効果率は、各年度の達成効果率となっていますが、目標値を明確に定めている指標については、必要に応じ、この率に年度補正率を乗じ、最終目標から換算した目標達成効果率をもって判定します。
 年度補正率（計画初年度→5/1、2年度目→5/2、3年度目→5/3、4年度目→5/4、5年度目→5/5） ～10～

施策の方向（1）市政への女性の参画の促進

基本的施策①				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
市女性職員の能力発揮と登用の促進				★★	性別に関係なく、各種研修への参加及び適格で優秀な人材の管理職登用環境の整備を進め、女性職員の能力発揮を促進したが、施策の性質上、短期的な効果を得られるものではないことから、登用は十分ではなかった。	早い段階からの意識啓発を行い、中長期的な視点で管理職を育成する必要がある。
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
26	「能力向上、意識向上のための各種研修への女性職員の参加促進」 各種研修への女性職員の参加を促進し、行政能力の向上に努めます。	人事課	関	★★★★	研修の実施・受講について、常に機会は均等であり、受講対象者の範囲と理由を明示し、性別に関係なく、研修目的に適した職員を受講対象者として選定した。また、受講者の研修受講履歴・職務状況の事前確認を行うとともに、研修生への早い段階での通知や上司への説明を行う等、研修に参加しやすい環境づくりに努めた。	
27	「女性管理職の育成・登用」 女性管理職職員の育成・登用の推進に努めます。	人事課	主	★	性別にとらわれることなく、管理職の育成を行い、適格な人材を登用したが、施策の性質上、短期的な効果を得られるものではないことから十分ではなかった。 目標達成効果率 (女性の課長職以上3名/課長職以上の職員数122名)/(女性職員数162名/職員数632名)≒0.10	中長期的な視点で管理職の育成が必要となる
		関連指標	課題2「a」			

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

基本的施策②				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」		
審議会等への女性委員の登用の促進				★★★	市の審議会等委員構成は、男女比率を考慮するよう各所管課等に指導等を行うとともに、委員の出席しやすい審議会等の開催日程等に配慮し、女性委員の登用を促進した。	各種審議会等の性質や委員の構成によっては、女性の登用が困難な場合がある。また、委員の適性も様々であることから、必ずしも女性の登用ができるとは限らない。		
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」		
28	「審議会等への女性委員の登用の促進」 各種審議会等委員の女性の積極的な登用を推進します。 <table border="1" data-bbox="581 691 1100 736"> <tr> <td>関連指標</td> <td>課題2「b」</td> </tr> </table>	関連指標	課題2「b」	行革推進課	主	★★★★★	「四街道市審議会等に関する指針」に基づき、審議会等の委員構成及び公募委員の選考に当たっては男女比率を考慮するよう各所管課等に指導等を行い、各種審議会等委員の女性の積極的な登用について推進した。	各種審議会等の性質や委員の構成によっては、女性の登用が困難な場合がある。
関連指標	課題2「b」							
29	「人材情報の活用」 各種の人材情報を整備し、審議会等の女性委員委嘱の際に活用します。 <table border="1" data-bbox="581 915 1100 960"> <tr> <td>関連指標</td> <td>課題2「b」</td> </tr> </table>	関連指標	課題2「b」	行革推進課	関	★★★	各種審議会等委員の情報を一元的に管理することで、必要に応じ女性委員の登用が促進できる体制を整えた。 男性1,207名(うち委嘱中は、294名) 女性444名(うち委嘱中は、119名)	各種審議会等の性質によって委員の適性は様々であり、一の審議会で優秀な人材であっても、他の審議会と同様の評価が得られるとは限らず、情報提供と当該者の登用が結びつきにくい。
関連指標	課題2「b」							
30	「出席しやすい審議会等の開催」 性別や家事・仕事にかかわらず、審議会等への出席をしやすいするため、曜日や時間、場所等に配慮した開催に努めます。 <table border="1" data-bbox="581 1134 1100 1178"> <tr> <td>関連指標</td> <td>課題2「b」</td> </tr> </table>	関連指標	課題2「b」	行革推進課	関	★★★	各審議会等の性質や構成委員の意向を踏まえた上で、各担当課が審議会等への出席がしやすくなるよう、開催日の設定をする際、曜日や時間、場所等に配慮した。	今後、深刻な出席率の低下が想定される場合には、改善に向け、指針等に明示するか検討する必要がある。
関連指標	課題2「b」							
31	「審議会等への傍聴の促進」 審議会等への理解を深め、広く知識を習得するため、審議会等への傍聴を促進します。	総務課	関	★★★★★	「審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、庁舎内の掲示、市ホームページへの掲載、市メールマガジン「よめーる」による配信等を通じて、広く市民の会議傍聴の機会の確保を促進することで、性別や年齢にかかわらず、委員登用の動機を醸成し、登用環境の整備を促進した。公開された会議数88回のうち、38の会議に傍聴者が来訪した。	会議開催の周知とともに、市ホームページ等における会議録や会議資料の閲覧機会の充実を図ることにより、審議会等への理解を深める必要がある。		

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

施策の方向（２）職場における女性の参画の促進

基本的施策①				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
女性従業員の能力発揮と登用の促進				★★★	男女が共同して参画することのできる環境づくりを積極的に貢献している事業所を千葉県が表彰しており、市ホームページに掲載することで事業所等への情報提供を推進した。	今後も市ホームページ等による情報提供の充実を図る必要がある。
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
32	<p>「事業所等における女性管理職登用の働きかけ」</p> <p>性別にかかわらず優秀な人材を登用できる環境づくりについて、事業所等へPRします。</p>	産業振興課	主	★★★	労働の場における男女共同参画の取り組みを促進するため、男女が共同して参画することのできる環境づくりに積極的に貢献している事業所を千葉県が表彰しており、事業所へのPRのため、制度の内容を市ホームページに掲載した。	今後も市ホームページ等による情報提供の充実を図る必要がある。

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

基本的施策②				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
事業所への雇用労働に係る男女平等推進に関する働きかけ				★★	事業所に対し、男女雇用機会均等法等の普及・啓発や雇用労働に係る男女平等推進に関する周知を行うとともに、入札において、男女平等を推進する企業を評価する制度を整えた。	男女雇用機会均等法等の普及・啓発をより一層図るため、事業所の経営者、従業員に対する意識改革を進める事業等の充実が求められる。
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
33	「男女雇用機会均等法等の普及・啓発」 リーフレット等を配布し、事業所等への普及・啓発を図ります。	産業振興課	主	★★	市ホームページにて、男女雇用機会均等法で禁止している「不利益な取扱い」等について明示し、事業者への注意喚起を促すとともに、千葉労働局などの相談機関があることを情報提供等することで、性別による待遇面等での差別を是正し、可能性・個性の発揮できる環境整備を促進した。	男女雇用機会均等法等の普及・啓発を推進する上で、経営者の意識改革を図るための事業等を充実していく必要がある。
34	「パートタイム労働法・労働者派遣法の周知」 リーフレット等を配布し、事業所等への周知を図ります。	産業振興課	関	★★	パートタイム労働法・労働者派遣法の内容が記載されたチラシ等を産業振興課の情報コーナーへ備え付け、事業者等に周知を図った。	男女雇用機会均等法等の普及・啓発を推進する上で、一層の周知・啓発を図る必要がある。
35	「男女平等推進企業に対する競争入札参加資格格付の実施」 入札参加資格業者の格付について、男女平等を推進する企業の評価を行います。	契約課	主	★★★	総合評価方式の試行に伴い、競争入札参加資格格付は廃止となったが、総合評価方式に「主任(監理)技術者になりうる女性技術者の雇用」に関する項目を設けることで、男女平等を推進する企業を評価する制度を整えた。	

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

基本的施策③				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」		
自営業者・農業者における男女平等推進に関する働きかけ				★★★	自営業者、農業者に対し、女性の経営参画の促進に向けた啓発を行い、家族経営における男女共同参画の推進に努めた。	家族経営協定における推進体制の整備が必要である。		
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」		
36	「自営業者における男女の経営参画の啓発」 家族経営を基本とした自営業において、男女が対等に経営参画するための意識啓発に取り組みます。 <table border="1" data-bbox="581 691 1100 736"> <tr> <td>関連指標</td> <td>課題2「C」</td> </tr> </table>	関連指標	課題2「C」	産業振興課	主	★★	6月に実施された男女共同参画週間中に、産業振興課の情報コーナーへ男女共同参画に関するチラシ等を備え付け、ポスター掲示を行い啓発に努めた。	効果的な啓発方法について検討する必要がある。
関連指標	課題2「C」							
37	「農業における家族経営協定の締結促進」 家族経営を基本とした農業において、家族の就業条件を明確化する家族経営協定の締結を促進します。 <table border="1" data-bbox="581 915 1100 960"> <tr> <td>関連指標</td> <td>課題2「C」</td> </tr> </table>	関連指標	課題2「C」	産業振興課	関	★★★★	農業経営において女性の参画が積極的に行われるよう、産業振興課の情報コーナーに農業経営改善のパンフレットを備え付け、農業の家族経営を担っている世帯員相互のルールを明確にした家族経営協定の締結促進を図った。また、さらなる締結促進を図るため、印旛農業事務所と合同で、家族経営協定の推進をすることとした。	他団体と連携し、効果的、効率的に推進をする必要がある。
関連指標	課題2「C」							
38	「農業経営等に関する方針決定等への女性の参画の働きかけ」 農業経営等において女性の参画が積極的に行われるよう、働きかけを行います。 <table border="1" data-bbox="581 1136 1100 1180"> <tr> <td>関連指標</td> <td>課題2「C」</td> </tr> </table>	関連指標	課題2「C」	産業振興課	主	★★★	産業振興課の情報コーナーへ家族経営協定・認定農業者の内容が記載されたチラシを備え付け、農業者に啓発を行った。24年度は共同申請により女性の認定農業者が1名増加した。	
関連指標	課題2「C」							

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

施策の方向（３）地域活動における女性の参画の促進

基本的施策①				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
地域活動団体への男女共同参画社会の形成に関する働きかけ				★	地域活動団体に対して、男女共同参画の促進及び啓発を図ったが、自治会、子ども会育成会、PTA活動等における男女共同参画の促進、啓発が十分でなかったことから、男女共同参画社会形成に関する働きかけを進めることができなかった。	地域活動団体は、性別を問わずテーマに関心のある市民が構成する団体や家庭の就労形態等の影響により男性の参加が少ない団体などもあり、社会構造的な改善と併せ、並行的に働きかけていく必要がある。
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
39	「自治会活動における男女共同参画意識の啓発」 自治会活動における男女共同参画意識の浸透を図るためのPRを行うとともに、運営上の役割に性別の偏りが生じないような働きかけを行います。	自治振興課	関	★	実施なし。	自治会への効果的なPRの検討、PR機会の創出を図る必要がある。
40	「シニアクラブ等における男女共同参画意識の啓発」 シニアクラブ等の高齢者の活動において、男女が共同参画できる環境や意識づくりへの働きかけを行います。	福祉政策課	関	★★★	シニアクラブ連合会の総会等や、単位クラブ会長会議・女性部常任幹事会議において、性別が偏ることなくだれでも活動に参加できる団体運営がなされるよう説明し、地域活動団体における男女共同参画の促進に努めた。	単位クラブの会長職においては、性別が偏っているため、意識づくりが継続的に必要である。
41	「子ども会育成会活動における男女共同参画の促進」 子ども会育成会活動における男女共同参画意識の浸透を図るためのPRを行うとともに、運営上の役割に性別の偏りが生じないような働きかけを行います。	社会教育課	関	★	実施なし。	男女共同参画意識の浸透を図るためのPRを積極的に行う必要がある。
42	「PTA活動における男女共同参画の促進」 PTA活動における男女共同参画意識の浸透を図るためのPRを行うとともに、運営上の役割に性別の偏りが生じないような働きかけを行います。	社会教育課	関	★	実施なし。	男女共同参画意識の浸透を図るためのPRを積極的に行う必要がある。
43	「市民活動団体等の支援、情報提供」 ボランティアやNPO等の市民活動団体や活動に携わりたい市民を育成し、だれもが活動しやすい環境を作っていくとともに、情報の提供等を推進します。	市民活動推進室	関	★★★	みんなで地域づくりセンターにおいて、地域にかかわる様々な主体が行う地域づくり活動を支援しており、性別に関わらず誰もが市民活動に参加する機会の拡充を図るとともに、市民活動情報サイト、市政だより、ソーシャルメディア等を活用し、地域づくり情報の発信を積極的に行い、誰もが活動しやすい環境づくりを推進した。	多様な主体が地域にかかわれる環境を整備していくために、情報発信、機会の提供等の充実を図る必要がある。

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

施策の方向（４）男女共同参画の視点に立った地域社会づくりの促進

基本的施策①				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
防犯・防災における男女共同参画推進				★★★★	防犯灯・街路灯の設置を進め、防犯パトロールの実施、消防団への女性団員の採用など、誰もが安全で安心な地域づくりを推進した。防災計画、備蓄用品についても、今後の対応を準備している。	女性の消防団員の参加、防災についてさらなる啓発活動及び広報による周知や、女性のニーズを踏まえた防災計画、備蓄用品の整備が必要である。
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
44	<p>「防犯灯・街路灯の増設」</p> <p>防犯灯・街路灯を新增設し、だれもが、安心して外出できる環境づくりを推進します。</p> <p style="text-align: right;">関連指標 課題2「d」</p>	自治振興課	関	★★★★	自治会からの防犯灯設置の要望に対し、随時、現地調査、改修を行うとともに22基を新設し、誰もが安全で安心な地域社会づくりを推進した。	
45	<p>「防犯パトロールの強化」</p> <p>だれもが安心して暮らせるよう、自治会等と連携のもと、防犯パトロールの強化に取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">関連指標 課題2「d」</p>	自治振興課	関	★★★★★	市民ボランティアによる協力を得て、車(3台)と徒歩による防犯パトロールを実施するとともに、安全安心ステーションと地域団体や警察との連携をするなど、誰もが安全で安心な地域社会づくりを推進した。	
46	<p>「女性の視点を盛り込んだ防災備蓄用品の整備」</p> <p>女性の視点から、防災備蓄用品の点検を行い、再整備を進めます。</p>	危機管理室	関	★★★	粉ミルク、紙おむつ、プライバシーに配慮した仕切り板等の整備は進んでいる状況である。	現在、備蓄食糧の整備段階であるため、食糧整備完了後、性別を考慮し、女性のニーズを踏まえた備蓄用品を整備する必要がある。
47	<p>「女性の視点を盛り込んだ防災計画づくり」</p> <p>防災計画見直しの際、女性の視点を盛り込みます。</p>	危機管理室	関	-	(次期地域防災計画策定時に実施)	
48	<p>「消防団への女性団員の参加促進」</p> <p>男女共同参画の視点から女性の消防団員の参加を進めます。</p>	消防本部 総務課	関	★★★★	女性の消防団への参加を促進するため、産業まつりの消防コーナー、出初式、市成人式等の事業において、消防団員の活動広報を行い、入団者の募集啓発を行った。	平成24年度の女性消防団員数は現状維持となっており、更なる広報活動が必要である。

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

基本的施策②				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
外国人との共生における男女平等の確保				★★★	姉妹都市リバモアへの短期留学生の派遣、小中学校における国際理解教育の促進を図ることで、異文化や異なる価値観を踏まえた上での男女平等に関する国際感覚の醸成を促進した。	交流する外国人の性別や国籍が単一的にならないような配慮が必要である。
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
49	「国際交流等での男女平等意識の促進」 姉妹都市交流を中心として、異文化を理解し、互いを尊重しあう国際感覚の醸成を促進します。	秘書広報課	関	★★★★★	市内在住の中学生男女各10名を姉妹都市へ派遣し、各々の視点で海外における男女の役割の違い等について日本との比較を行ってもらった結果、出発前と帰国後では、意識の変化が見られた。	短期間の派遣かつ言語等の問題から、観察する余裕がない学生もいる。
50	「学校における国際理解教育の促進」 英語指導助手（ALT）との連携のもと、国際理解教育を行い、互いを尊重しあう国際感覚の醸成を促進します。	指導課	関	★★★	5名のALTを小学校へ355回、中学校へ575回配置した。授業だけでなく、給食などの身近な交流によって、言語や文化、習慣や食事などの様々な違いを知ることによって国際理解につなげることができた。中学校においては男女両方のALTと触れ合い交流することで、自然に互いを尊重し合う国際感覚を醸成することができた。	各学校への配置回数を増やすこととともに、ALTの性別や国籍等が単一的にならないような配慮が必要である。

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

施策の方向（５）女性の社会的チャレンジの支援

基本的施策①				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
女性の社会的チャレンジを支援する相談・学習機会・情報の提供等				★★★	就職・再就職を目指す女性を対象に、就職のための各種情報提供や給付金制度等の周知を行うとともに、女性の社会参画への推進を図る講座を開催した。	魅力的な講座の開催や求職者への情報提供について効果的な周知法の検討が必要である。
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
51	<p>「チャレンジ・再チャレンジ支援講座の実施」</p> <p>就職・再就職活動を目指す女性を対象に、支援講座等を開催します。</p> <p style="text-align: right;">関連指標 課題2「e」</p>	政策推進課 家庭支援課 産業振興課	主	★★★★★	母子家庭自立支援教育訓練給付金支給制度、ひとり親家庭支援助成金制度を周知し活用を促進することで、母子家庭の母の社会的チャレンジ意識を高めた。ジョブカフェちばとの共催による就活セミナーを開催し、就職活動に関するマナーや、良い印象を与える動作を実践で学ぶ支援を行った。「女性のためのアサーティブ・コミュニケーション(自分と相手を大切にしながら、自分の気持ちや意見を伝える方法)講座」を開催し、女性の社会参画への推進を図った。	参加者の確保に向け、いかに解りやすく、魅力的な講座を開催できるかが課題である。
52	<p>「就職・再就職に関する情報の提供」</p> <p>四街道就労支援システムを通じて、就職・再就職を目指す女性に情報提供を行います。</p>	産業振興課	関	★★	求職活動の一環として来庁する女性に対して、他機関で実施している再就職のための研修の紹介、ハローワークでの求人情報の入手方法等について情報提供を行った。	情報提供を行うことについて周知方法の検討が必要である。
53	<p>「職業能力・技術を習得する学習情報の提供」</p> <p>リーフレット等の窓口への備え付けや市広報を通じたPRを図ります。</p>	産業振興課	関	★★★	産業振興課の情報コーナーへ千葉県より送付される「離職者等再就職訓練の受講者募集」案内を設置し、来庁する求職者に情報提供を行った。	効果的な啓発方法について検討する必要がある。

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

めざす社会のすがた「性別にかかわらず、だれもが個人として尊重され、個性を発揮できる社会」

課題 3 家庭生活と社会生活の調和の促進

目標達成効果率

目標達成効果率＝現状値(当該年度)－基準値(平成19年度)/
目標値(平成25年度)－基準値(平成19年度)

0.8以上 : 目標達成に向けて十分な成果が認められる
0.6～0.8未満: 目標達成に向かう成果が認められるが十分でない面がある
0.3～0.6未満: 目標達成に向かう成果があまり認められない
0.3未満 : 目標達成に向かう成果はほとんど認められない

指標と目標値

目標達成効果率

No.	成果指標	基準値	目標値 平成25年度	現状値（目標達成効果率）					国数値（参考）
				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
a	保育所入所待機児童数（※）	31人	0人	47人(0.0)	24人(0.23)	39人(0.0)	36人(0.0)		
b	家庭生活のための時間が取れていると感じている人の割合	—	女性：88.0% 男性：80.0% 調査ごとに増加する	—	—	—	女性80.8%(0.7) 男性69.9%(0.6)	女性：84.2% 男性：76.0% (平成20年7月)	
c	市職員の性別育児休業等取得率	女性100.0% (取得7人/対象7人) 男性25.0% (取得3人/対象12人)	取得率 女性：90.0% 男性：55.0%	女性100%(0.0) 男性0.0%(0.0)	女性100%(0.0) 男性5.6%(0.18)	女性100%(0.0) 男性0.0%(0.0)	女性100%(0.0) 男性7.1%(0.0)	女性：95.3% 男性：1.6% (平成21年度)	
d	市職員の性別介護休暇取得状況	女性：0人 男性：0人	女性、男性ともに取得を希望する人が取得できる	女性0人(—) 男性0人(—)	女性0人(—) 男性0人(—)	女性0人(—) 男性0人(—)	女性0人(—) 男性0人(—)		
e	均等・両立推進企業表彰、千葉県男女共同参画推進事業所表彰の受賞企業数	0件	1件以上推薦する	0件(0.0)	0件(0.0)	0件(0.0)	0件(0.0)		
f	家事諸項目（食事・掃除洗濯）の担当者が「夫婦とも同じ程度」と回答した人の割合	女性：3.9% 男性：9.4% 平成19年度男女共同参画市民意識調査（2項目平均）	女性：4.0% 男性：10.0% 調査ごとに増加する	—	—	—	女性4.3%(4.0) 男性8.7%(0.0)	女性：5.4% 男性：8.9% (平成21年9月)	

※保育所とは公立及び市内認可保育園です。また、各年度の待機児童数は厚生労働省が毎年度実施する保育所入所待機児童数調査（厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課調べ）に基づく数値です。なお、本指標については年度当初

の数値が示されるものであることから、各年度の待機児童数については、翌年度の4月1日現在のものとしています。

- ・達成状況及び現状値（目標達成効果率）の「—」となっている項目は、市民意識調査項目です。
- ・市民意識調査は、平成24年度の実施を予定しています。
- ・目標値を明確に定めていない指標の目標達成効果率は、本表欄外右上の評価内容を勘案し、算定しています。
- ・本表の目標達成効果率は、各年度の達成効果率となっていますが、目標値を明確に定めている指標については、必要に応じ、この率に年度補正率を乗じ、最終目標から換算した目標達成効果率をもって判定します。
年度補正率（計画初年度→5/1、2年度目→5/2、3年度目→5/3、4年度目→5/4、5年度目→5/5） ～20～

施策の方向（１）家庭生活と社会生活の両立支援

基本的施策①				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
子育て・介看護等と社会での活動の両立支援の取り組み				★★★	保育事業の充実を図るとともに、介護保険制度等の啓発、助成事業等の実施により、子育て・介看護等と社会での活動の両立を支援した。	ワーク・ライフ・バランスへの取り組みや保育、介護サービスの普及啓発について、効果的な周知が必要である。
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
54	<p>「保育所の充実」</p> <p>多様で質の良い保育サービスの確保に努め、待機児童の減少推進など、子育て期の男女の社会生活を支援します。また、入所に関する情報提供の充実に努めます。</p> <p>関連指標 課題3「a」</p>	こども保育課	関	★★★★★	待機児童の解消を目的として、新たな認可保育園の開設事業者に補助金の交付を行い施設整備を進めることで、性別にかかわらず家庭生活と社会参加の両立がしやすくなるよう支援した。	
55	<p>「男女が参加できる地域開放の充実」</p> <p>保育所の所庭開放やあそびの広場等について、実施内容の充実に努めます。</p> <p>関連指標 課題3「b」</p>	こども保育課	関	★★★	市内全ての保育所(園)において、園庭開放又は、あそびの広場を実施し、性別にかかわらず家庭生活と社会参加の両立がしやすくなるよう支援した。	
56	<p>「時間外保育の充実」</p> <p>保育所における時間外保育を実施します。</p> <p>関連指標 課題3「b」</p>	こども保育課	関	★★★	市内全ての保育所(園)において、午前7時から午前8時30分まで及び午後5時から午後7時まで時間外保育を実施することで、保護者の家庭生活と社会参加の両立がしやすくなるよう支援した。	
57	<p>「一時保育の充実」</p> <p>保育園での一時保育を実施します。</p> <p>関連指標 課題3「b」</p>	こども保育課	関	★★★★★	市内6か所の保育所(園)において、非定型的保育、緊急保育、私的事由による保育を行うことで、保護者の児童に対する保育の負担軽減が図られ、性別にかかわらず家庭生活と社会参加の両立がしやすくなるよう支援した。	
58	<p>「病後児保育の充実」</p> <p>病気「回復期」の乳幼児を対象に、家庭での保育、集団保育が困難な場合の一時保育を実施します。</p> <p>関連指標 課題3「b」</p>	こども保育課	関	★★★	中央保育所において病気回復期の乳幼児の保育を実施し、保護者の育児負担を軽減した。	登録者数は増加傾向にあるが、利用者数は減少しているため、ホームページや病後児保育だよりを活用し、一層の啓発を図る必要がある。また、市内認可保育園出張登録を実施し、他園と連携することで、利用者が安心して利用できる環境を整える必要がある。

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
59	<p>「ファミリー・サポート・センター事業の充実」</p> <p>相互援助や組織の活用を行い、サービスメニューの拡大等や会員の確保を行うとともに、研修内容の充実に努めます。</p>	こども保育課	関	★★★	市内幼稚園・保育園・小学校の全保護者、子育てがひと段落した中学校の保護者、子育て支援センターの出席講座の参加者や乳幼児健診時などの機会に会員募集リーフレットを配布した。また、毎月一日号の市政だよりの「くらしの掲示板」で入会希望者の入会説明会の案内を掲載した。ファミリー・サポート・センター会員が前年度より増加した。	女性会員の増加だけでなく、男性会員の増加につながるような方策を検討する必要がある。また、依頼会員は増加しているが、提供会員については会員数が少なく高齢化が進んでいる。
	<p>関連指標</p> <p>課題3「b」</p>					
60	<p>「乳幼児の医療費助成の充実」</p> <p>安心して子育てができる環境づくりとして、乳幼児の医療費助成の充実に努めます。</p>	家庭支援課	関	★★★★	前年度から実施している医療費助成に加え、中学校3年生までの通院分についても助成対象とした。また、小学生以上の支給要件だった所得制限を撤廃し、自己負担金も300円から200円に減額したことにより、家計における子どもの医療費の負担軽減を図り、性別に関わらず家庭生活と社会生活がしやすくなるよう支援した。	
	<p>関連指標</p> <p>課題3「b」</p>					
61	<p>「地域で支える子育ての機運の充実」</p> <p>地域ぐるみの子育て支援体制を確立するため、子育てネットワークの充実に努め、関係機関との連携を強化します。</p>	こども保育課	関	★★★	子育て関連団体や市民が自ら情報登録し、四街道市内の「官民協働」の子育て情報を閲覧できる子育て支援サイト「すくすくネット」を運営し、地域ぐるみの子育て支援体制の確立を促進することで、性別にかかわらず家庭生活と社会参加の両立がしやすくなるよう支援した。	市民活動情報サイトが平成25年3月31日をもって閉鎖され、サイトに設けていた「すくすくネット」も閉鎖となったことから、今後の情報提供方法を検討する必要がある。
	<p>関連指標</p> <p>課題3「b」</p>					
62	<p>「学童保育・こどもルームの充実」</p> <p>働く親が安心できるよう、学童保育の機能充実に努めます。</p>	こども保育課	関	★★★	放課後等における児童の安全な生活の場を確保することで、保護者が安心して社会参加し、性別にかかわらず家庭生活と社会参加の両立がしやすくなるよう支援した。	こどもルームへの入所申請者数が定員数を上回った場合の対処を検討する必要がある。
	<p>関連指標</p> <p>課題3「b」</p>					
63	<p>「子育て支援センターの充実」</p> <p>子育てに関する情報の提供を行い、安心して子育てができるよう、個々の家庭に応じた支援を行います。</p>	こども保育課	関	★★★★	市内4か所の保育所(園)において、遊びの広場、子育て講座、出前子育て支援センター、ボランティア交流、子育て相談等を実施するなど、充実した内容の運営及び支援を行うことにより、子育て環境が向上し、家庭生活と社会参加の両立がしやすくなるよう支援した。	子育て支援を必要としているが、公の場に来られない方をどう支援していくか検討する必要がある。
	<p>関連指標</p> <p>課題3「b」</p>					
64	<p>「幼稚園における預かり保育の支援」</p> <p>幼稚園において、保育開始時間前及び時間終了後に行う預かり保育の充実に努めるための支援に努めます。</p>	こども保育課	関	★★★	市内全ての私立幼稚園における預かり保育の実施を支援するため、補助金制度を設けている。多数の園児が利用することで、性別にかかわらず家庭生活と社会参加の両立がしやすくなるよう支援した。	
	<p>関連指標</p> <p>課題3「b」</p>					

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
65	<p>「ひとり親家庭への支援及び情報提供、相談事業の充実」</p> <p>ひとり親家庭に対し、医療費助成、各種祝金などの経済的支援を行うとともに母子自立支援員等と連携を図り、ひとり親家庭への情報提供や相談支援体制の充実に努めます。</p> <p style="text-align: right;">関連指標 課題3「b」</p>	家庭支援課	関	★★★	ひとり親家庭に対し、経済的支援等を行うとともに母子自立支援員と連携し、情報提供や相談支援体制の充実に図ることにより、ひとり親家庭の家庭生活と社会生活の両立を促進した。	経済的支援のほか精神的支援(相談業務等)の充実が必要である。
66	<p>「公共施設における男女が使用可能なベビーベッド等の設置検討」</p> <p>市所有の施設において、男女が使用可能なベビーベッド等の設置に向けて検討を行います。</p>	管財課	主	★★★	庁舎と市保健センター内に移動式の授乳コーナー及びベビーベッドを設置している。また、市文化センターには、授乳及びおむつ交換コーナーを設置している。これにより外出先でのおむつ交換等、性別にかかわらず子育てと社会活動が両立できるよう支援した。	市民等へ効果的な周知方法を検討する必要がある。
67	<p>「介護保険制度の内容理解に向けた啓発」</p> <p>介護保険制度の周知を図るため、広報掲載、パンフレット配布などの啓発を行います。</p>	高齢者支援課	関	★★★	高齢者支援課窓口、地域包括支援センターなどで介護保険パンフレットを随時配布し、要介護者及びその家族だけでなく、広く市民に周知を図ることにより、性別にかかわらず、家族の介護と社会活動の両立がしやすくなるよう情報提供することができた。また、市民からの依頼に基づき、生涯学習まちづくり出前講座「知っておきたい介護保険」を実施した。	出前講座の依頼が少ないため、積極的にPRを行い周知を図る必要がある。
68	<p>「介護に関する支援体制の充実」</p> <p>介護についての相談に対応し、必要な情報提供を随時行います。</p>	高齢者支援課	関	★★★	介護サービスの利用に当たっては、利用者本人や家族の意向に配慮するとともに、希望に合ったサービスを受けられるようにすることが大切であり、地域包括支援センターや介護事業者など各機関が連携を図りながら相談に応じることなどにより、性別にかかわらず、家族の介護と社会活動の両立がしやすくなるよう支援した。	介護をめぐる固定的な役割分担の意識の解消や、介護経験が少ない男性への支援などが必要である。
69	<p>「市民へのワーク・ライフ・バランスの普及・啓発」</p> <p>講座の開催等、関係部署との連携により、市民への意識啓発に取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">関連指標 課題3「b」</p>	政策推進課	主	★★★★	千葉県地域推進事業として、千葉市の土気中央幼稚園において、園児の保護者向けに開催された出前講座の支援を行い、ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発を他市と連携して行った。また、四街道市男女共同参画フォーラム事業「男性の料理教室」の開催を支援し、男性・女性の家庭生活と社会生活の両立を促進した。	より効果的な講座の開催等を検討する必要がある。

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

施策の方向（２）家庭と就労の両立のための職場環境の整備促進

基本的施策①				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
家庭と就労の両立調和に関する事業所への働きかけ				★★	市職員及び市内事業者に対し、家庭と就労の両立の普及・啓発を行い、男女がともに家庭と就労の両立を図るよう働きかけを行った。	市職員及び市内事業者に対するワーク・ライフ・バランスの効果的な周知方法について検討する必要がある。
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
70	<p>「事業所への家庭と就労の両立の普及・啓発」</p> <p>関係部署との連携により、事業所への意識啓発に取り組みます。</p> <p>関連指標 課題3「b・e」</p>	産業振興課	主	★★★	ワーク・ライフ・バランスについて、市ホームページを通じて情報提供を行い、家庭と就労の両立のための職場環境の整備を促進した。	効果的な周知方法について検討する必要がある。
71	<p>「男女共同参画表彰制度の周知」</p> <p>厚生労働省の均等・両立推進企業表彰及び千葉県男女共同参画推進事業所表彰制度を周知し、よりよい取り組みができるよう促進します。</p> <p>関連指標 課題3「b・e」</p>	産業振興課 政策推進課	主	★★★	市ホームページにて男女共同参画表彰制度の概要を掲載するとともに、詳細が掲載された千葉県のホームページへの案内を設定し、周知啓発を図ることで、事業所等に対して本事業の関心を高め、性別にとらわれない労働環境並びに家庭と就労の両立のための環境整備を促進した。	効果的な周知方法について検討する必要がある。
72	<p>「事業所への育児・介護休業制度の普及・啓発」</p> <p>リーフレット等の配布により啓発を行います。</p> <p>関連指標 課題3「b」</p>	産業振興課	関	★★★	産業振興課の情報コーナーへ育児・介護休業法の改正に関するチラシ等を引き続き設置するとともに、市ホームページにおいても周知を図り、家庭と就労の両立のための職場環境の整備を促進した。	効果的な周知方法について検討する必要がある。
73	<p>「市職員への家庭と就労の両立の普及・啓発」</p> <p>市職員への啓発を図り、働きやすい環境づくりに取り組みます。</p>	人事課 政策推進課	主	★★★	職員にノー残業デー(毎週月・水曜日)の徹底を図り、職員が退庁しやすい職場環境の整備に努めた。	時間外勤務を減少させるための更なる努力(職員の適材適所配置や、グループ制の有効活用等)が必要である。
74	<p>「市職員への育児・介護休業制度活用の普及・啓発」</p> <p>育児・介護休業制度が男女職員ともに偏りなく活用できるよう周知するとともにその定着を推進します。</p> <p>関連指標 課題3「c・d」</p>	人事課	主	★★	育児産前産後休暇取得前の女性職員、配偶者の出産を控えている男性職員への育児休業制度等の説明を随時実施することで、制度活用についての理解を深めた。	市役所内で、全庁的な育児休業取得への理解を促すことが必要である。

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

施策の方向（3）男性の家庭・地域での活動の支援

基本的施策①				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
男性への生活技術・子育て・介護等に関する相談・学習機会・情報の提供等				★★★	各種講座、事業等を実施し、男性の家事・子育て・介護等の知識と技術の習得を支援するとともに、男性のための介護者の会を設立するなど、男性の交流機会を促進した。	講座等について、男性が参加しやすい曜日、時間の検討が必要である。また、土日開催のための人員配置を考慮する必要がある。
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
75	<p>「男性の家庭参画を促す講座等の実施」</p> <p>男性が家庭や地域に係わっていくことを支援する講座等を開催します。</p> <p style="text-align: right;">関連指標 課題3「f」</p>	公民館 政策推進課	主	★★★★	四街道市男女共同参画フォーラム実行委員会主催事業「男性の料理教室」の開催を支援するとともに、公民館主催事業として「まな板トントン」（四街道公民館）を開催することで男性の家庭参画の推進を図った。参加者アンケートの結果、家庭参画へ前向きな回答が得られた。	男性が家庭で実践できる魅力的な講座を実施し、参加者数を確保することができるかが課題である。
76	<p>「ぷれママルーム、パパママスクールの開催」</p> <p>これから親になる男女が学習する講座等を開催します。</p>	健康増進課	関	★★★	父母それぞれに応じた学習ができるよう配慮した内容によりパパママルームを実施することで、性別にかかわらず育児がしやすくなるよう支援した。各コースで曜日を変え、参加しやすい状況を整えるとともに、夫を主とした3回目は土日の設定とした。	第1子が生まれる夫婦を対象としているが、利用率は40%程度にとどまっている。参加者の拡大が課題である。
77	<p>「育児・子育て講座等の開催」</p> <p>子育て中の男女が学習する講座等を開催します。</p>	公民館	関	★★★	各公民館の主催事業として子育てに関する親子講座「2・3歳児ひよこ教室」、「2歳児子育て教室」、「なかよし教室」を開催し、性別にかかわらず育児がしやすくなるよう支援した。	男性が参加しやすい曜日、時間の検討が必要である。
78	<p>「介護講座等の開催」</p> <p>介護についての基礎知識と介護制度について理解を深めるための講座等を開催します。</p>	高齢者支援課	関	★★★★	介護予防の出前講座を通じ、市民が要介護状態にならないようにするための知識等の習得を支援した。また、介護者については社会的孤立や精神的負担を軽減するため、地域包括支援センターを通じて介護者の会の支援を行い、今年度は男性のための介護者の会「男の介護を語る会」を設立した。	親の介護に直面している中高年男性の地域包括支援センターへの相談が増えていることもあり、男性への介護制度に関する周知も効果的に行う必要がある。
79	<p>「子育て支援センターでの男性の参加促進」</p> <p>平日利用できないことの多い男性も利用しやすい運営を推進します。</p>	こども保育課	関	★★★	父親と子どもの遊びを支援する出前青空子育て支援センター「パパと森であそぼう」をプレーパークどんぐりの森と共催することで、男性の保育への協力・理解と家庭・地域活動の参加を促進した。	土日開催のための人員配置が困難である。

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

めざす社会のすがた「性別にかかわらず、だれもが個人として尊重され、個性を発揮できる社会」

課題 4 人権が守られる社会の形成

目標達成効果率

目標達成効果率＝現状値(当該年度)－基準値(平成19年度)/
目標値(平成25年度)－基準値(平成19年度)

0.8以上 : 目標達成に向けて十分な成果が認められる
0.6～0.8未満: 目標達成に向かう成果が認められるが十分でない面がある
0.3～0.6未満: 目標達成に向かう成果があまり認められない
0.3未満 : 目標達成に向かう成果はほとんど認められない

指標と目標値

目標達成効果率

No.	成果指標	基準値 ※	目標値 平成25年度	現状値（目標達成効果率）					国数値（参考） （平成20年度）
				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
a	DVの被害経験（精神的、肉体的、性的）があると回答した女性の割合	精神的暴力：7.1% 肉体的暴力：3.9% 性的暴力：3.0%	調査ごとに減少する	—	—	—	精神的暴力5.0% (0.7) 肉体的暴力2.0% (0.8) 性的暴力1.2% (0.8)	精神的暴力：16.6% 肉体的暴力：24.9% 性的暴力：15.8% (注)	
b	セクシュアル・ハラスメントの被害経験（職場、学校、地域）があると回答した女性の割合	職場で：26.4% 学校で：4.5% 地域で：5.1%	調査ごとに減少する	—	—	—	職場で：25.0% (0.6) 学校で：4.6% (0.0) 地域で：4.6% (0.6)		

- ・達成状況及び現状値（目標達成効果率）の「—」となっている項目は、市民意識調査項目です。
 - ・市民意識調査は、平成24年度の実施を予定しています。
 - ・目標値を明確に定めていない指標の目標達成効果率は、本表欄外右上の評価内容を勘案し、算定しています。
 - ・本表の目標達成効果率は、各年度の達成効果率となっていますが、目標値を明確に定めている指標については、必要に応じ、この率に年度補正率を乗じ、最終目標から換算した目標達成効果率をもって判定します。
年度補正率（計画初年度→5/1、2年度目→5/2、3年度目→5/3、4年度目→5/4、5年度目→5/5）
- (注) DVの被害経験について、四街道市では、調査対象を夫婦や恋人など近い関係としている。国においては、配偶者のみを対象とした調査です。

施策の方向（１）女性に被害が多い暴力の防止と被害者支援のための相談・学習機会・情報の提供等

基本的施策①				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
ドメスティック・バイオレンス等の防止と被害者支援のための相談の充実				★★★	児童及び配偶者等に対する暴力防止対策における関係機関との連携や民生・児童委員への研修の充実、相談先の周知を図ることによりドメスティック・バイオレンス等の防止と被害者支援への取組を進めた。	ケースワーカー・相談員のさらなる資質向上や地域住民の協力体制の強化、情報提供しやすい環境づくりが求められる。
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
80	<p>「児童及び配偶者等に対する暴力防止対策地域協議会の開催」</p> <p>関係機関との連携や相談体制等の機能充実について研究を行います。</p> <p style="text-align: right;">関連指標 課題4「a」</p>	政策推進課 家庭支援課	主	★★★	四街道市児童及び配偶者等に対する暴力防止対策地域協議会(愛称CANPY)における代表者部会や実務担当者部会の開催により、DV防止、被害者支援を行う関係機関との連携体制を強化することができた。	今後もケースワーカー及び相談員のさらなる資質向上が必要である。
81	<p>「緊急保護を求めるDV被害者等への支援」</p> <p>関係機関との連携を図り、被害者に適切な支援を行います。また、状況に応じて緊急一時保護の助成を行います。</p> <p style="text-align: right;">関連指標 課題4「a」</p>	家庭支援課	主	★★★	相談支援として必要な助言・指導を行った結果、緊急保護や入所保護に至ったケースはなかった。	相談は生命の危機にかかわる内容が多いため、早急かつ適切な判断が求められる。
82	<p>「民生・児童委員に対する研修の推進」</p> <p>地域に密着した活動を行っている民生・児童委員を対象とする人権・DV等に関する研修を推進します。</p>	福祉政策課	関	★★★★	民生委員・児童委員協議会総会や理事会、主任児童委員部会において、適宜DV対策等を含め、幅広い知識及び対応能力の向上に努めるよう説明し、DVの防止と被害者の早期発見の協力体制の強化を図った。また、女性児童対策研究部会の研修会において、DV事例などの意見交換を行い、情報共有を行った。	民生委員・児童委員の業務は多岐に渡るため、幅広い知識及び対応能力の向上に努める必要がある。委員の改選があるため、定期的な学習の確保が必要である。
83	<p>「DV等に関する相談窓口の周知」</p> <p>県の配偶者暴力相談支援センター等について、チラシ等の配布や広報、ホームページ等の掲載により周知を行います。</p> <p style="text-align: right;">関連指標 課題4「a」</p>	政策推進課 家庭支援課	主	★★★	市役所内女性用トイレ、家庭支援課及び関係部署の窓口にDV等に関する電話相談窓口の連絡先が入ったカードを、市役所受付脇の掲示箇所にリーフレットを配置した。また、家庭児童相談室(DV相談含む)の連絡先を記載したカードを家庭支援課窓口に配置し、DV等に関する相談体制の周知を図った。	当事者がDV被害者になっているという認識度が低いため、特に若年層への周知が必要である。

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
84	<p>「児童虐待・DV防止に関する広報・啓発」</p> <p>ポスターやパンフレットの配布のほか、子育て支援相談等により、児童虐待及びDV防止の啓発を行います。</p> <p style="text-align: right;">関連指標 課題4「a」</p>	政策推進課 家庭支援課	主	★★★★	11月に行われた「児童虐待防止推進月間」の取り組みとして、児童虐待に関する記事を市政だよりに掲載するとともにポスターを掲示した。また、市内幼稚園、保育園、小学校、民生委員等に児童虐待防止を啓発するクリアファイル、チラシを配布し、児童虐待及びDV防止の啓発を行った。	地域住民の協力体制の強化と情報提供しやすい環境の構築等が求められる。
85	<p>「DV等を誘発する有害情報等の排除の実施」</p> <p>市内の巡回活動において、性の商品化や暴力、DVを容認するような有害ビラや看板等の監視を行い、必要に応じて撤去等の指導を行います。</p> <p style="text-align: right;">関連指標 課題4「a・b」</p>	青少年育成センター	関	★★★★★	青少年育成センター職員、補導員が街頭補導や青色防犯パトロールを行い、有害ビラ等の有害情報の監視・撤去を行った。	警察との連携を図る必要がある。

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

基本的施策②				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」		
セクシュアル・ハラスメントの防止と被害者支援のための相談の充実				★★★★	セクシュアル・ハラスメント防止に向けた啓発や市役所における相談・対応体制の充実などにより、セクシュアル・ハラスメントの防止を促進した。	セクシュアル・ハラスメント防止に関する効果的な啓発や、市役所においてハラスメントが発生した場合の迅速に対応できる環境づくりの検討が必要である。		
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」		
86	「セクシュアル・ハラスメント防止に向けた啓発の推進」 セクシュアル・ハラスメント防止のためのポスター、パンフレットの配布の他、相談窓口の周知を行います。	政策推進課	主	★★★	国、県等からのセクシュアル・ハラスメントに関するパンフレットの設置依頼に適宜対応し、庁舎内に配置した。市民、事業者に対して周知を行うことで、セクシュアル・ハラスメントの防止に向けた啓発を図った。	効果的な啓発について検討する必要がある。		
	<table border="1"> <tr> <td>関連指標</td> <td>課題4「b」</td> </tr> </table>	関連指標	課題4「b」					
関連指標	課題4「b」							
87	「セクシュアル・ハラスメントに係る市職員への研修会の実施」 セクシュアル・ハラスメント防止に向けた市職員への研修を実施します。	人事課	主	★★★★★	職場内コミュニケーション研修を実施し、セクシュアル・ハラスメント、パワーハラスメントのない職場の実現について研修を行った。また、新規にハラスメント予防対策研修を行い、ハラスメントの正しい知識を習得し、職場での予防と対策強化を図った。			
	<table border="1"> <tr> <td>関連指標</td> <td>課題4「b」</td> </tr> </table>	関連指標	課題4「b」					
関連指標	課題4「b」							
88	「セクシュアル・ハラスメントに係る市職員からの相談の実施」 市職員からのセクシュアル・ハラスメント相談に対応します。	人事課	主	★★★★	職員からのセクシュアル・ハラスメントやパワーハラスメントに係る相談に対応できる体制は整えている。また、昨年度に引き続き、24時間対応の悩みごと相談の窓口を開設した。	ハラスメントが発生した場合において、迅速に対応できる環境づくりを検討する必要がある。		
	<table border="1"> <tr> <td>関連指標</td> <td>課題4「b」</td> </tr> </table>	関連指標	課題4「b」					
関連指標	課題4「b」							

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

施策の方向（２）男女共同参画の視点に立った健康の確保と福祉の増進

基本的施策①				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
性差に配慮した健康の維持増進の取り組み				★★★	性差医療に関する情報の収集・提供の実施、性差に配慮した検診や心身の相談業務を進め、健康の維持増進を図るための取り組みを進めた。	健康教育における男性の参加を促す必要がある。
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
89	「健康教育、健康相談の充実」 健康教育、健康相談の実施において、性差に配慮するとともに、年代や個々に応じたきめ細かな相談の対応に努めます。	健康増進課	関	★★★	健康教育は148回実施し、多岐にわたる内容により、子どもから高齢者までの幅広い年齢層に対して延べ21,295人(男性4,716人 女性16,579人)の参加があった。また、健康相談を290回開催し、骨粗しょう症検診事後相談や個別健康相談を行うとともに、乳がん自己検診の重要性を周知するなど、性差に配慮した取り組みを実施した。	今後は男性対象の教室等の実施を企画する必要がある
90	「健診に対する情報提供及び受けやすい健診体制の整備」 妊婦・乳幼児健診、成人の健康診査の事業の充実、整備に努めます。	健康増進課	関	★★★	妊婦、乳幼児健診、成人の健康診査に対する情報提供を行うとともに、男女別検診や検診時の託児等により、性差に配慮した受けやすい検診体制を整えた。	
91	「妊娠・出産・子育て期における健康支援の充実」 母子健康手帳交付、子育て電話相談、健康診査、家庭訪問等を実施し、安心して妊娠・出産・育児に関する相談ができる体制を整備します。	健康増進課	関	★★★	母子健康手帳交付、子育て電話相談、乳幼児健診・相談、家庭訪問、その他要支援者への面接・電話相談、健診事後教室、ことばの相談室など安心して妊娠・出産・育児に関する相談ができる体制を整備することで、性差に配慮した健康の確保と福祉の増進を図った。	
92	「喫煙・飲酒・薬物乱用防止の啓発」 健康への影響について、男女ともに正しい知識を身につけてもらうとともに、母体への影響について啓発活動を行います。学校においては、教員への研修を実施し、児童生徒への適切な指導を行います。	健康増進課 学務課	関	★★★	母子健康手帳交付時、パパママルーム、思春期保健事業・乳幼児健診などを通じて、喫煙・飲酒による健康への影響を周知、啓発した。また、小学校では薬物乱用防止教室、中学校では非行防止教室を実施し、自己の健康管理と正しい行動が実践できるよう指導を行うことで、性差に配慮した健康の維持と福祉の増進を図った。	
93	「性差医療に関する情報の収集・提供」 性差医療、相談等に関する情報の収集と提供を行います。	健康増進課	関	★★★	男女によって異なる疾患、原因、治療法について、健康増進課窓口にはパンフレットを設置し、情報の周知に努めるとともに、市民からの相談時に専門医・専門機関の紹介や情報の提供を実施、講演会の周知を行うなど、性差に配慮した健康増進を図った。	効果的な啓発について検討する必要がある。

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
94	「心の健康づくりの推進」 性差、年代など個々に応じたストレスや心の不安等を解消するため、情報提供や相談の場の確保に努めます。	健康増進課 指導課	関	★★★	市民がストレスや不安感を解消できるよう、電話相談、相談室での個別対応、関係機関への紹介・連絡などを実施するとともに、市ホームページに「こころの健康」のコラムを掲載した。また、週に1回、各中学校にスクールカウンセラーを配置し、教育相談週間や日常的に各担任や養護教諭が相談を受け入れる体制を作ることで、思春期での性差に配慮した健康の維持増進を図った。	心の健康は身体の健康に比べて情報提供や健康教育の実施が少ない。また、学校においては児童・生徒の相談機会をより確保する必要がある。

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：（ ）がついている場合は、平成24年4月の組織改正に伴う変更後の課名を表しています。

基本的施策②				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
性に配慮した高齢者・障害者福祉				★★★	同性介助の苦情、相談体制は整備済みであり、また、介助については個人の意思を尊重したサービスの実施に努めている。	介護サービス分野や障害者福祉における人材不足の解消が求められる。
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
95	「同性介助の調査、研究」 性差に配慮した同性介助の実態やその必要性について調査・研究を行います。	福祉政策課 高齢者支援課 障害者支援課	関	★★★	同性介助に関する利用者、事業者からの苦情、相談があれば適宜対応するが、実績はない。介助についてはサービス受給者の個人の意思を尊重したサービスの実施に努めている。	介護サービス分野や障害者福祉における人材不足の解消が求められる。

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

めざす社会のすがた「性別にかかわらず、だれもが個人として尊重され、個性を発揮できる社会」

課題 5 男女共同参画社会の形成に取り組む体制の強化

目標達成効果率

目標達成効果率＝現状値(当該年度)－基準値(平成19年度)/
目標値(平成25年度)－基準値(平成19年度)

0.8以上 : 目標達成に向けて十分な成果が認められる

0.6～0.8未満: 目標達成に向かう成果が認められるが十分でない面がある

0.3～0.6未満: 目標達成に向かう成果があまり認められない

0.3未満 : 目標達成に向かう成果はほとんど認められない

指標と目標値

目標達成効果率

No.	成果指標	基準値	目標値 平成25年度	現状値（目標達成効果率）				
				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
a	男女共同参画推進協議会の開催回数（※）	-	複数回開催し推進計画等に関する状況を把握する	1回（0.5）	2回（1.0）	2回（1.0）	4回（1.0）	
b	男女共同参画推進計画の進行状況についての公表の実施	0回 H20年度まで未実施	年1回公表する		1回公表（1.0）	1回公表（1.0）	1回公表（1.0）	

※四街道市男女共同参画推進協議会

男女共同参画施策の積極的な推進を図るとともに、広く意見を求めるために四街道市で設置した機関です。学識経験者、関係団体の代表、関係行政機関の職員等の委員から構成されます。男女共同参画推進協議会は、平成24年12月2日より男女共同参画審議会へ移行しました。上記開催回数は男女共同参画審議会1回分を含みます。

- ・達成状況及び現状値（目標達成効果率）の「-」となっている項目は、市民意識調査項目です。
- ・市民意識調査は、平成24年度の実施を予定しています。
- ・目標値を明確に定めていない指標の目標達成効果率は、本表欄外右上の評価内容を勘案し、算定しています。
- ・本表の目標達成効果率は、各年度の達成効果率となっていますが、目標値を明確に定めている指標については、必要に応じ、この率に年度補正率を乗じ、最終目標から換算した目標達成効果率をもって判定します。
年度補正率（計画初年度→5/1、2年度目→5/2、3年度目→5/3、4年度目→5/4、5年度目→5/5）

施策の方向（１）施策の推進体制の強化

基本的施策①				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
庁内における男女共同参画推進機能の強化				★★★	男女共同参画推進本部において平成26年度を開始年度とする第3次四街道市男女共同参画推進計画の策定方針等を決定した。また、推進本部会委員を含めた職員対象の研修を実施し、職員全体の資質向上を図ることができたが、専任組織設置の検討は、限られた職員数の中で増加する行政課題に対応している現状を考慮し、引き続き見送るものとした。	限られた職員数の中、喫緊の行政課題に適確に対応するための組織・人員編成を行う必要がある。
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
96	「男女共同参画推進本部の充実」 幹事会を含め検討内容等の充実に努め、男女共同参画推進本部の機能強化を図ります。	政策推進課	主	★★★★★	本部会・幹事会を開催し、適正な進行管理を行うとともに、平成26年度を開始年度とする第3次推進計画について策定方針等を決定した。	本部会・幹事会の女性職員の充実を図る必要がある。
97	「男女共同参画推進本部会等での研修等の実施」 幹事会を含め、男女共同参画に関する研修機会を設け、構成職員の資質向上を図ります。	政策推進課	主	★★★★★	「男女共同参画に関する行政課題の認識を深める」を演題として職員研修を開催した。本部会・幹事会構成員、その他市職員の参加を促し、51名の参加を得た。研修後アンケートを実施し、多くの職員から理解を得るなど男女共同参画に対する理解が深まった。	より多くの本部・幹事会構成員が参加できる日程の検討が必要である。
98	「専任組織の設置」 男女共同参画を総合的に推進するための専任組織の設置を検討します。	人事課 政策推進課	主	★	組織の見直しを行ったが、部、課等の増設や業務増に伴う人員不足のため、専任組織の設置についての検討までは至らなかった。	限られた職員数の中、喫緊の行政課題に適確に対応するための組織・人員編成を行う必要がある。

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

基本的施策②				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」		
男女共同参画推進協議会との協働の強化				★★★	各会議において委員の出席しやすい日程等に配慮して開催するなど、運営の充実に努めた。			
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」		
99	「男女共同参画推進協議会の充実」 男女共同参画推進協議会の開催日時に配慮し、出席しやすくするとともに開催回数を増やす等、運営の充実に努めます。	政策推進課	主	★★★★★	より多くの委員が参加できるよう土曜日、日曜日を開催日とし、男女共同参画推進協議会を3回開催。平成23年度の事業評価について意見を求めた。なお、同協議会は平成24年12月2日に条例に基づく四街道市男女共同参画審議会へ移行した。審議会においても引き続き多くの委員が参加できる開催日時に配慮した上で、1回開催した。			
	<table border="1"> <tr> <td>関連指標</td> <td>課題5「a」</td> </tr> </table>	関連指標	課題5「a」					
関連指標	課題5「a」							
100	「男女共同参画推進協議会での情報交流の実施」 男女共同参画に関する研修機会を設け、委員の情報交流を図ります。	政策推進課	主	★★	男女共同参画推進協議会は平成24年度12月に廃止となったため、研修は行わなかった。			

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

施策の方向（２）計画の成果を上げる進行管理

基本的施策①				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
男女共同参画推進計画の成果を上げる進行管理の実施				★★★	男女共同参画推進計画における計画事業の進行管理を行い、進行状況の評価を実施・公表した。また、市民意識調査を行ったが、市職員、事業所の意識調査を行うことができず、それらの意識の実態を把握することは十分にできなかった。	進行管理の際、市民意識調査を実施しなければ成果が把握できない指標があるが、他の行政課題や施策の状況、費用等を考慮すると毎年度の調査実施は困難である。
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
101	<p>「男女共同参画推進計画の進行管理の実施」</p> <p>男女共同参画推進計画の計画事業について、進捗調査を実施し、適正な進行管理に努めます。</p> <p>関連指標 課題5「b」</p>	政策推進課	主	★★★★★	計画3年目となる平成23年度事業について、庁内調査を実施し、四街道市男女共同参画推進本部において、進捗状況及び成果の把握に努めるとともに、事業推進の共通理解を図った。また、四街道市男女共同参画推進協議会より、市の計画事業の進捗状況及び成果について意見を受けるなど、適正な進行管理に努めた。	より分かりやすい評価となるよう留意する必要がある。
102	<p>「男女共同参画推進計画における計画事業の事業評価の構築」</p> <p>計画事業の事業評価手法を構築し、計画の進行管理に際し、事業評価を行います。</p> <p>関連指標 課題5「b」</p>	政策推進課	主	★★★★★	平成23年度事業の進捗状況を把握した上で、各事業の進捗状況をまとめ、男女共同参画推進本部において評価を実施するとともに、男女共同参画推進協議会より、評価に対する意見を受けた。	よりわかりやすい評価となるよう評価方法や内容について検討する必要がある。
103	<p>「市民意識調査の実施」</p> <p>市民の男女共同参画に関する意識の実態を調査するため、定期的に市民意識調査を実施します。</p> <p>関連指標 課題5「b」</p>	政策推進課	主	★★★★★	男女共同参画市民意識調査を行い、市民の男女共同参画に関する意識の実態を把握した。	毎年度の調査実施は、他の行政課題や施策の状況、費用等を考慮すると困難である。
104	<p>「市職員の意識調査の実施」</p> <p>市職員の男女共同参画に関する意識の実態を調査するため、定期的に市職員意識調査を実施します。</p> <p>関連指標 課題5「b」</p>	政策推進課	主	★	実施なし。平成25年度に実施予定。	前回実施したアンケート調査との経年変化の把握に留意する必要がある。
105	<p>「事業所意識調査の実施の検討」</p> <p>事業所の男女共同参画に関する意識の実態を調査するための意識調査の実施に向けた検討を行います。</p> <p>関連指標 課題5「b」</p>	政策推進課	主	★★	事業所の男女共同参画に関する意識調査は、第2次四街道市男女共同参画推進計画に位置づけている事業所に関する事業の進捗状況や、市民及び市職員を対象とした意識調査の結果を基に実施時期を判断するものとした。	事業所に関する計画事業の進捗状況と合わせ、実施時期を判断する必要がある。

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
106	「市民への男女共同参画推進計画の進行状況の公表」 男女共同参画推進計画の進行状況の公表に努めます。	政策推進課	主	★★★★★	第2次四街道市男女共同参画推進計画の進行状況について、平成23年度事業の市の評価結果と四街道市男女共同参画推進協議会の意見を公表した。	市民に分かりやすい内容となるよう検討が必要である。

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：現在の担当課名を記載しています。

施策の方向（3）国・県・他市町村との連携

基本的施策①				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
男女共同参画社会の形成のための国・県・他市町村との連携強化				★★★	国・県・他市町村との連携を図りながら、男女共同参画に係る様々な課題の解決に向けた取り組みを推進した。	
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
107	「国・県との連携」 ・国・県との連携を密にし、協力して課題解決に取り組みます。	政策推進課	主	★★★	国からのポスター、パンフレット等を配布、設置し、情報提供を行うことで男女共同参画を推進した。また、県主催の会議・研修に出席し、県及び市町村間における情報の共有化を図った。さらに、千葉県男女共同参画地域推進員事業と連携し、千葉市の幼稚園で行われた出前講座について、当市の実績を基にアドバイスをを行い、男女共同参画の理解を促進した。	
108	「国・県への働きかけ」 ・国・県に対し、施策の推進について要望活動を行います。	政策推進課	主	★★★	県内28市により構成される「ちば男女共同参画行政担当者連絡会議」及び県主催会議の場において、必要に応じ、県に対する要望を行っている。	
109	「他市町村との連携」 ・ちば男女共同参画行政担当者連絡会議等において、他市町村との連絡を密にし、施策の推進に取り組みます。	政策推進課	主	★★★	県内28市により構成される「ちば男女共同参画行政担当者連絡会議」に出席し、意見交換を行い、男女共同参画の施策の推進を図った。	

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：（ ）がついている場合は、平成24年4月の組織改正に伴う変更後の課名を表しています。

施策の方向（４）市民との協働

基本的施策①				評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
男女共同参画社会の形成のための市民との協働活動の推進				★★★	四街道市男女共同参画フォーラム実行委員会との協働事業により市民協働を推進した。また、四街道市男女共同参画推進協議会、四街道市男女共同参画審議会については、公募市民4名が委員となり、十分な市民参加を実施した。	
No.	事業名及び取り組み内容	担当課	区分	評価	「実施」・「成果」	「実施上の課題」
110	「男女共同参画推進計画に関する市民意見の導入の推進」 ・男女共同参画推進計画に市民の意見を幅広く取り入れるため、パブリックコメントを充実します。	政策推進課	主	-	次期男女共同参画推進計画策定時(平成25年度)実施予定	
111	「市民参加による男女共同参画推進の拡充」 ・男女共同参画推進協議会、男女共同参画フォーラム実行委員会等について一層の市民公募、市民参加を推進します。	政策推進課	主	★★★	四街道市男女共同参画フォーラム実行委員会の各種講座開催、広報紙の設置・配布を支援し、市民協働を推進した。また、四街道市男女共同参画推進協議会については、委員15名中、有識者2名、市内関係団体の代表9名、公募市民4名から構成されており、市民参加が図られている。なお、平成24年12月に協議会から移行した四街道市男女共同参画審議会についても引き続き市民参加を図っている。	

関連指標：関連指標は、事業を実施することで、課題ごとの成果指標の目標達成に効果が期待される、または関連する指標の項目を表しています。

区分：区分の主は、「主目的事業」、関は、「関連事業」を表しています。

担当課：（ ）がついている場合は、平成24年4月の組織改正に伴う変更後の課名を表しています。